



2004年8月27日

各位

上場会社名 昭和電線電纜株式会社
コード番号 5805

第7次中期経営計画（2004～2006年度）について

・・・成長戦略への移行・・・

これまでの事業基盤の柱であった通信や電力を中心とした社会インフラの需要構造変化に対応し、かつ、事業の拡大が見込まれる分野を明確に定め、経営資源を積極的に投入することにより事業の拡大を図るとともに、収益基盤をより強固にすることを旨とし、2004年度をスタートとした第7次中期経営計画を策定いたしました。

記

第7次中期経営計画（2004～2006年度）

ケーブルから部品・システム・サービスへ

これまで取り組んできました第6次中期経営計画（2002～2004年度）の推進により、収益構造・財務体質の改善、強化など一定の成果が得られましたが、昭和電線グループを取り巻く経営環境は、光ファイバ関連需要の低迷、価格競争の激化、ユーザーの海外進出等大きく変化してきております。

これまでの通信や電力を中心とした社会インフラ需要に依存した電線・ケーブルを中心とする事業構造から、成長が見込まれる事業分野の拡大を加速することで事業基盤をより強固にすることを企図し、「ケーブルから部品・システム・サービスへ」をコンセプトに中期経営計画を策定いたしました。

独自のコア技術を活かし競争優位性を発揮できる製品や市場の拡大が見込まれる事業分野にグループの資源を集中し、新たな収益基盤を創出することで、事業の拡大と高い収益性を目指してまいります。

1. 中期計画の数値目標

計画の前提として、光ファイバ関連や電線・ケーブルは大きな需要の拡大を見込まず、成長事業を拡大することにより事業を拡大する収益計画を策定している。 (単位：億円)

《連 結》	03年度	04年度	05年度	06年度
売上高	1090	1170	1210	1260
営業利益	33	33	42	53
経常利益	10	11	25	37
当期純利益	12	6	15	22
人員(年度末)	2890名	2900名	2930名	2930名
有利子負債	768	745	700	660
ROA	0.6%	0.7%	1.7%	2.5%

2. 成長事業の拡大による新たな利益創出

Select Circle One = 「Only One」 「Best One」 「First One」を目指して

ブロードバンドの急速な普及やユビキタス・オンデマンド化を支える情報機器関連や社会的関心が高まるセキュリティや環境関連の分野で市場の拡大が見込まれる精密デバイス、振動制御機器、ワイヤハーネス、通信エンジニアリング、ワイヤレスを含めたネットワークソリューション等の事業、また、独自のコア技術を活かすことで事業の拡大を図るコンパクト型電力用終端機器事業を成長事業と位置付け、経営資源を集中し、獨創性に優れた高付加価値製品の開発を進め、事業の拡大と高い収益性を目指します。

精密デバイス（ローラ）事業

- ・製品群の拡大と新規市場への参入
- ・中国生産拠点の能力増強と競争力強化

振動制御機器事業

- ・免震や環境配慮型商品の拡大
- ・グループ販社活用によるユーザー拡大

ワイヤハーネス（電子ワイヤ）事業

- ・中国での供給拡大、生産能力の増強
- ・ワイヤ供給からハーネス加工までを含めたグループ企業の連携強化

コンパクト型電力用終端機器事業

- ・グローバル・スタンダードを目指した海外展開
- ・海外企業との連携も視野に入れた開発・生産体制の強化

成長事業の売上・利益目標

（単位：億円）

《 連 結 》	03年度	04年度	05年度	06年度
売上高	244	260	290	315
営業利益	7	12	17	22

3. 基盤事業の収益安定化

「ケーブルから部品・システム・サービスへ」

光ファイバケーブル等の通信ケーブルや電線ケーブル、線材などの基盤事業は、安定した社会インフラのリニューアル需要を狙い、サービスの向上や提案力を強化するとともに、グループ内の事業再編等により更なる効率化を進め、収益の安定化を図ります。

コミュニケーション・デバイス事業部門

- ・メタル通信事業の再編（仙台事業所、富士電線(株)、宮崎電線工業(株)、青森昭和電線(株)）
- ・光ファイバ関連事業（ケーブル、デバイス、加工、施工）の集約によるトータルソリューションの開発力強化とサービス向上

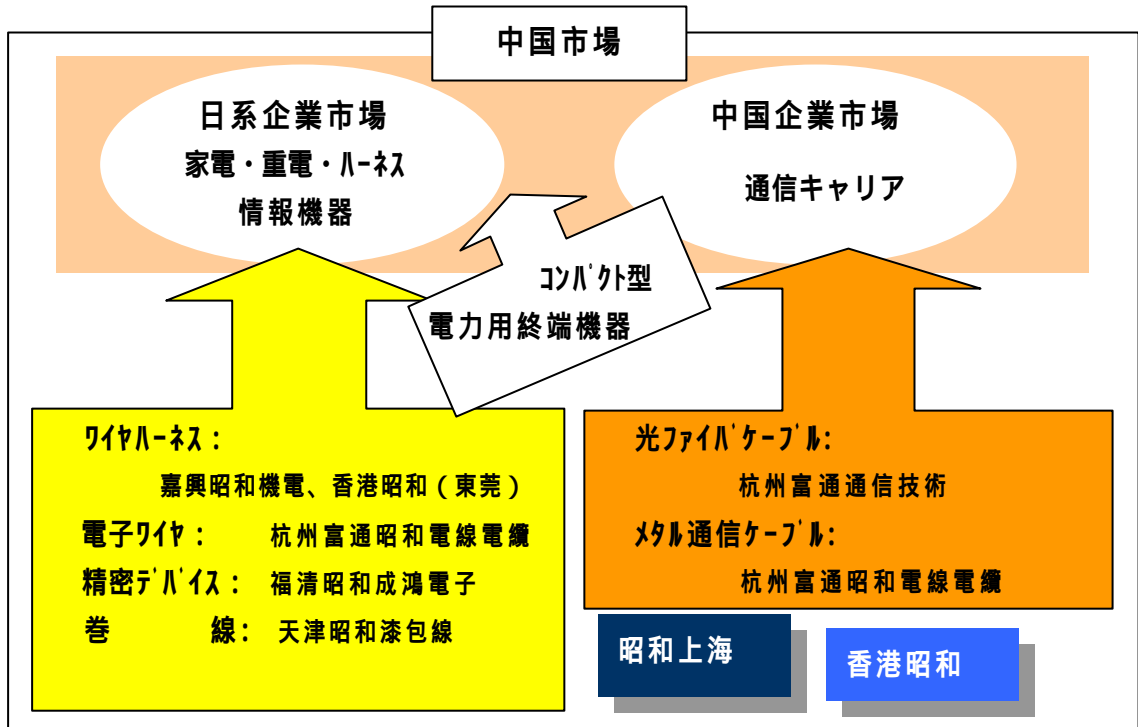
エネルギー事業部門

- ・電力機器、端末加工、施工の強化
- ・汎用電線事業の生産・物流コスト低減
- ・巻線事業の高付加価値製品強化による拡大

4. 中国市場での事業強化

中国進出が拡大している日系セットメーカーへの供給拡大を図るとともに、中国の通信インフラ市場に向けては、中国通信ケーブルメーカーの富通集団との連携を強化し、中国市場での事業拡大・強化を進めます。

ワイヤハーネス、複写機・プリンター用ローラ、コンパクト型電力用終端機器の拡販
中国合併企業の収益基盤強化
上海・香港の販社の活用



5. 資産効率の向上と財務体質の強化

営業運転資本の圧縮とともに、不動産や株式等の資産売却を更に進め、有利子負債の圧縮ならびに、資産効率の向上を目指し、財務基盤の一層の強化を図ります。

本件に対するお問合せ先： 総務部 総務・広報グループ TEL 03-5532-1911

以上